

# “一日を早むる”技術と製品を通じた社会貢献

1917年、ADEKA(旧旭電化工業)は

第一次世界大戦で高騰する「苛性ソーダ」の国産化を目指して創立しました。

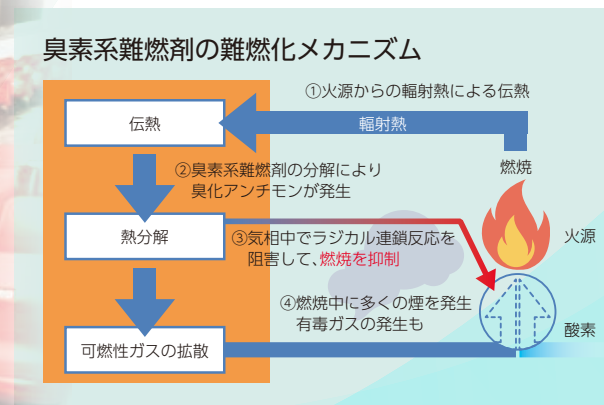
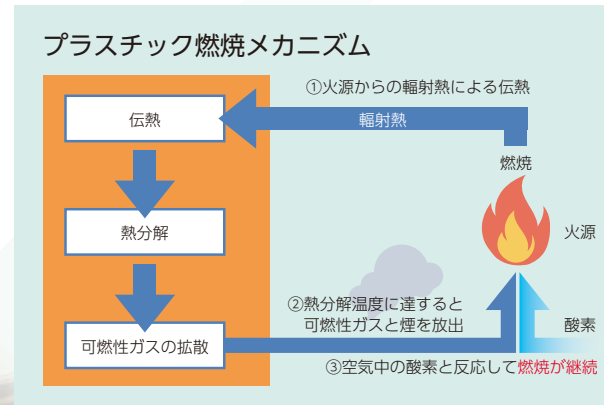
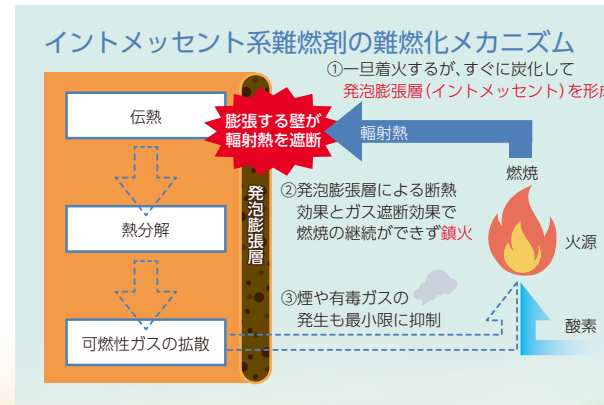
間もなく、製造過程で副生する水素を有効活用すべく硬化油の製造が始まり、石鹸やマーガリンへと生産品目を拡大し、「化学品」と「食品」を二本柱とするユニークな企業として発展してきました。

「本業また一日を早むれば国利民福一日早く至るを覚ゆ」この創立趣意書の一節には、

技術革新を一日も早く進めて、社会の幸せにつなげたいという“想い”が込められています。

先駆者の“想い”が受け継がれ、「企業力による社会課題の解決」に期待するSDGsの主旨にも通ずる

新たな課題解決のカギとなる技術や製品が生まれています。



●ISO5659-2シグナルチャンバー試験結果

試験片に熱を加えた際の煙濃度や毒性ガスの発生量を測定

| 配合添加剤(配合割合)                   | 煙濃度<br>(Ds max) | 毒性ガス |                                 |
|-------------------------------|-----------------|------|---------------------------------|
|                               |                 | 臭化水素 | 一酸化炭素<br>(mg / m <sup>3</sup> ) |
| 添加剤無し                         | 727             | 0.07 | 601                             |
| 臭素系難燃剤<br>BR-FR(22%)          | 792             | 0.37 | 5,114                           |
| イントメッセント系<br>難燃剤FP-2500S(25%) | 99              | 0.03 | 373                             |

化学品分野

樹脂  
添加剤

炭化皮膜の膨張する壁で尊い人命と大切な財産を守る

## イントメッセント系難燃剤 「アデカスタブ FP-2000シリーズ」

- 用途
- プラスチック製品・部品全般
- メリット
- 延焼時間と発熱速度の抑制
  - 発煙量の抑制
  - 煙毒性の抑制

### 延焼防止と火災安全性の向上

最新の難燃剤に求められる「社会価値」

火災現場では、煙や有毒ガスにより尊い人命が失われるケースが少なくありません。プラスチックに難燃性を付与する最新の添加剤には、「延焼防止」ばかりではなく、火災安全性の観点から、これらの発生を抑制する機能も求められています。欧州では鉄道関連部品の規格の統一化に伴い、乗客に近い場所で使われる部品に低煙性、煙毒性を基準値以下に設定しており、中国で

も同様の規格を採用するなど、今後はほかの地域や、ほかの輸送機関、公共施設等への適用拡大が予想されています。

### 最新の“要求”に応える イントメッセント系難燃剤

難燃性を高め、発煙量も煙毒性も抑制するのがイントメッセント系難燃剤です。構成成分中にリンと窒素を含み、炭化被膜の「防火壁」を形成します。

## TOPICS >>

機能性材料分野で世界初となるUL Verified Markを取得  
「アデカスタブ FP-2000シリーズ」

独立性を保持する第三者として科学的な検証を行う米国の安全科学機関であるUL社が、「アデカスタブ FP-2000シリーズ」を添加した樹脂サンプルと臭素系難燃剤を添加したサンプルを比較。「99%の発煙ならびに89%の一酸化炭素排出量が低減」されることが確認され、イントメッセント系難燃剤「アデカスタブ FP-2000シリーズ」の優位性を客観的に証明するVerified Mark(UL検証マーク)が発行されました。



## TOPICS >>

家電筐体の薄肉化に貢献  
「アデカスタブ FP-900L」

家電製品の薄型化が加速するなかで、筐体の薄肉化が求められています。「アデカスタブ FP-900L」は部材の強度を維持しつつ、薄肉化し、かつ難燃性を付与できるイントメッセント系難燃剤です。「薄肉化」と「難燃性」を両立させたエンジニアリングプラスチックを可能にし、豊かで快適かつ安全な社会に貢献します。

